

講習内容

必修領域(6時間) 1 講習

8月8日(木) 9:00~17:20(講習6時間+試験1時間) 【必修領域】

講習名	教育の最新事情
担当講師	田原 宏人(地域共創学群・教授) 武川 一彦(地域共創学群・准教授) 木村 宣孝(地域共創学群・教授) 高石 克美(地域共創学群・准教授)
講習内容	札幌圏教職課程コンソーシアム(協定校:札幌学院大学、北星学園大学、酪農学園大学、札幌大学)によって開催される講習です。「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、現在の教職に求められる知識を修得し、今日的な教育課題についての理解を深めることをめざします。
募集定員	100人
受講料	6,000円

選択必修領域(6時間) 2 講習

8月9日(金) 9:00~16:10(講習6時間) 【選択必修領域】

講習名	主体的、対話的で深い学び(アクティヴ・ラーニング)の授業デザイン ワークショップ
担当講師	荒木 奈美(地域共創学群・教授)
取り扱う事項	育成を目指す資質及び能力を育むための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
講習内容	「主体的、対話的で深い学び」を学校教育の中で実践する際に必要不可欠な要素を盛り込み、受講者がグループを作り協力してアクティヴ・ラーニング型の授業を創り出す。できあがった授業はそれぞれのグループがポスター発表によって公表し相互評価を行う。一つひとつの過程を通じて、評価を通じた学びの活性化についても提案したい。
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
募集定員	50人
受講料	6,000円

8月9日（金）

9:00～16:10（講習6時間）

【選択必修領域】

講習名	生徒の脳に英語の回路を形成するための効果的な教授法を考える
担当講師	濱田 英人（地域共創学群・教授）
取り扱う事項	英語教育
講習内容	英語を習得するということは脳内に英語の回路を形成するということです。この講習では、認知言語学、認知科学、脳科学の視点から、日本語話者と英語話者の出来事の捉え方の違いについて理解を深め、日本語と英語の言語的特徴の違いを対照的に考察することを通して、英語の感覚とは何かを考えます。このことを踏まえ、英語の習得上どのようなところに生徒が難しさを感じるのかを理解し、英語の回路を形成するための効果的な言語活動について考えます。
主な受講対象者	中学校・高等学校英語教諭
募集定員	50人
受講料	6,000円

選択領域(6時間) 2 講習

8月10日(土) 9:00~16:10 (講習6時間) 【選択領域】

講習名	特別な支援を必要とする子ども及び保護者支援
担当講師	福井 一之 (地域共創学群・教授)
講習内容	今日、学校教育において、特別な支援を必要としている児童生徒の存在と支援の必要性については広く認知されてきたが、一人一人の実態に応じた支援については、まだまだ手探りの状況である。特別な支援を必要としている子どもへの支援は、学校の取組だけではなく家庭や関係者等による多面的な支援が必要であるが、中でも保護者との連携がうまくいかないことで苦悩を抱えた担任が多い現状がある。本講習では、発達障害や重複障害者等の特別な支援を必要としている子どもへの支援と共にその保護者への支援の在り方について研修します。
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
履修認定対象	教諭
募集定員	30人 (申込みが5人以下の場合は開講されません。)
受講料	6,000円

8月10日(土): 9:00~16:10 (講習6時間) 【選択領域】

講習名	グローバル時代の使える英語とハーバード流交渉術の英語活用
担当講師	御手洗 昭治 (地域共創学群・教授)
講習内容	この講習では使えるグローバル時代後半の英語学習法の一環として①英語の表現力・プレゼンテーション力、ハーバード流交渉術と英語のケース・スタディ、②言語力のアップ法、③コンテンツ力、それに④異文化感受力・対応力、⑤世界のトレンドの動きについて探求します。学習者達はこれら5つの柱を異文化コミュニケーションの実践の場において、どのように活用すればよいのか？異文化との付き合い方、タブーなどについてビジュアルな映像と資料を使用し紹介します。
主な受講対象者	中学校・高等学校英語教諭
履修認定対象	教諭
募集定員	30人 (申込みが5人以下の場合は開講されません。)
受講料	6,000円